



知事手交と関係機関協議について

沼津高架P I プロジェクト報告会(2013. 12. 21)



第12回 P I 委員会（平成25年11月4日）



【日 時】

平成25年11月4日（月）13：00～15：15

【出席委員】

石田委員長、松浦委員、目加田委員

【傍 聴 者】

20人

【推奨案の選定の考え方】

① 県東部地域における拠点形成

広域的な視点から、沼津市はその個性と魅力を活かし、県東部地域の拠点としての各機能を確保することが求められる。

② 投資規模の妥当性

大規模な公共投資が市財政へ過度な負荷とならないかという懸念に関する確認。

③ 実現化までの期間の考慮

早急な対策が求められている状況を踏まえ、実現化までの期間を総合的に判断することが必要である。



第12回 P I 委員会（平成25年11月4日）

委員会の状況

- 推奨案の選定については、最後まで残った4つの候補案には、それぞれ固有の不確実性を含んでいることから1つに絞り込むことは適切ではなく、4案のままとすることについて報告し、了承された。
- P I プロジェクト全体を通して透明で公正に進められたと判断され、本プロジェクトの終了についても了承された。
- 今後のまちづくりについては、本プロジェクトでの2年間の議論を無駄にしないためにも、今後も市民が参加できる機会が奪われないような体制やしくみを沼津市とともに考えるべきであるとの助言があった。

沼津高架 P I プロジェクト・ P I 報告書手交



【日 時】

平成25年11月15日（金）15：55～

【出席者】

川勝知事

石田 P I 委員長、

井上総合ファシリテーター

- 石田 P I 委員長より報告書を知事へ手交。
- また勉強会の総合ファシリテーターの井上氏も同席し、勉強会における共通認識も併せて手交。

沼津高架P I プロジェクト・P I 報告書手交

- 沼津高架P I プロジェクト P I 委員会報告書
- 沼津高架P I プロジェクト勉強会における共通認識
～今後の地域づくりの進め方について～
- 沼津高架P I プロジェクト プロジェクトレポート【概要】



富国有効の理想郷 - しずおか
ふじのくに

報告書手交時のコメント

石田PI委員長

- ・様々な取り組みの中で多くの意見をいただき、感謝したい。
- ・いい議論ができ、この取り組みで担当も成長した。
- ・ここに書いてあるPIの理念にあるように、進め方が大事であり、これまでに築いた資産を活用していただきたい

井上総合ファシリテーター

- ・勉強会の参加者の総意としてまとめたものが「勉強会における共通認識」である。
- ・これは色々認識を共有したということで、今後どういう案であったとしても進めるにあたってこういうことを考えて欲しい。
- ・財政のあり方については、過剰な負担にならないような検証とコストの縮減というのを努力してほしいというのが共通の意見。
- ・最後の勉強会において参加者全員が一言ずつ、壇上にあがり感想を述べたのだが、多くの方がこのような場を作ってくれて大変よかった。感謝するということをやっていた。

知事

- ・PIの最大の成果は、対立して意見を交わさなかった人たちが、それぞれの思いを述べ合ったこと。
- ・PIの基本理念に従い、公正な議論を重んじ、今後取り組んで行く。

富国有効の理想郷 - しずおか
ふじのくに

手交（11月15日）以降の知事の発言

沼津市長と会談後（11月21日）

- ・市と県が一緒になって、市民のためにやらざるを得ない。
- ・これは県の仕事だ、これは市の仕事だと言っているのでは、市民のためにならない。
- ・それを克服できることが分かった。一緒にできるということが分かった。それが今日の最大の成果である。

知事定例会見（11月25日）

- ・沼津市の方も、今までとは違って、出来る限り、協議に入ってくるということで合意した。
- ・JR貨物の社長と会談をした。（担当が）働きかけやすいよう環境づくり（土俵づくり）をしている。
- ・JR貨物は公共的な仕事をしている。協力を賜ることができる感触を持った。

沼津市関係者等による要望（11月29日）

- ・PI委員会では防災面の観点が考えられていなかった。
- ・原地区は防潮堤はあるが、津波など防災面が心配だ。

県議会（12月5日）

- ・重要な関係者の参加が得られなかったその2つの主体（沼津市とJR貨物）が今入ってきた。
- ・実務者レベルにおいて、JR貨物の御意向を承りながら、当方の意見を申し上げて協議をようやく進められるという段階に入った。
- ・沼津市の置かれている現状や市民の方々の思いは十分承知しており、方向付けが決まる様、努めていく。

最近の沼津市長の発言

市長定例会見（11月27日）

- ・PIが終わり、これから1つの案に絞っていかなければならない。そういう段階になったときに沼津市が全く関与しないということはありません。
- ・事務方に全権を預けて、事務方がこれからの解決策を探っていくと伺っている。私どもはこれに協力していく。
- ・今まではPIは県が主導として行って市はオブザーバーという恰好であったが、これからは一緒にやっていく。

市議会（12月4日）

- ・県に協力していくということについては、PIが終わり、いろいろな意味で、関係者と協議していく。前に進めていくということ。

沼津市との協議状況

協議回数
5回

内容

- 今後の県市協力体制に係る意見交換
- 住民、県、市による地域づくりについて
など

- 今後は、様々な形で県と協力し、進めていく。
- まちづくりについて積極的に検討していく。

JR貨物との打合せ状況

打合せ回数
4回

内容

- PIで絞り込まれた4案についての説明
- 各案に対する鉄道事業者としての意見を伺う

- 打合せや検討に際しては真摯に対応していただいている。